

# ジュゴン Vol.68

## ちゃんぷるニュース



2013. 5. 21

### CONTENTS



- 2 沖縄県・沖縄防衛局交渉
- 4/5 東京アースデイ参加報告
- 第13回総会報告
- 4.28 屈辱の日沖縄大会
- 6/7 フィリピンレポートその2
- コラム「賑やかだった出版祝賀会」
- おきなわ便り

旧暦3月3日の浜下りの頃、潮干狩りで沖縄の浜は賑やかになります。海水に手足を浸して身を清め健康を願う行事です。なかでも平安座島の『サングワチャー』は盛大です。4月13日の『トゥダヌイユ』と『ナンザモーイ』に参加しました。伝統が色濃く残っているからか新聞の取材や観光客も多いです。『トゥダヌイユ』は女性神人たちの魚を銜で突き刺し豊漁や海の安全を祈る儀式で、盛装したおばあたちの祈りや歌や踊りは見応え十分。そして島の発展を願う神事「ナンザモーイ」です。タマン（カラフルな大きな魚）の神輿を担ぎ、通りを練り歩き、浜から700メートルのナンザ岩まで海を渡ります。ナンザ岩の頂上では東のニライカナイに向かって歌や踊りを奉納し豊漁を祈願します。せまい岩の上で大勢が祈る姿はなかなかの光景です。儀式が終わった後、平安座島の神人であるSDCC代表の豊さんと一緒にウートートー（お祈り）しました。平和を願って。

## 守りたいもの

ナンザモーイではみんな思い思いに奇抜に、カラフルに、子どもたちはフェイスペインティングしてかわいく装います。若い世代の参加を促すため仮装大会もありました。平安座自治会の皆さんの伝統を受け継いでいくという思いが伝わってきました。海の恵みに感謝して文化が育まれてきたのだなと思います。辺野古の浜も潮干狩りで賑ったかなとふと思い「豊かな海があったから、戦後生き延びることができ、子や孫を育ててこれなんだよ」おばあの言葉が心に響いてきました。ナンザ岩から石油基地が目に入りました。開発の波はこの島にも押し寄せていました。沖縄の海岸線の多くは埋め立てられています。3月22日沖縄防衛局は、沖縄県に「辺野古埋め立て申請書」を提出しました。ジュゴンの棲む美しい海を埋め立てるといのです。新しく米軍基地を造るために。美しい海、自然な暮らし、伝統行事が受け継がれていくこと、それらを守りたいと思う。

辺野古の海を壊してしまいたくない。

(関西 池側恵美子)

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] [info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)



龍宮神について著した海勢頭代表の出版記念会  
(7、8面)



盛大に行われる平安座島のサングワチャー  
(巻頭言)

## 埋立て申請に関する沖縄県・沖縄防衛局交渉



5月10日SDCCは、米軍基地建設のための埋立て申請について、沖縄県海岸防災課と沖縄防衛局と要請交渉を行いました。名護市議の東恩納琢磨さんも駆けつけてくれました。

県から33項目もの補正を要求された防衛局の申請。補正の提出期限は6月11日です。これまで他の団体もこの問題に取り組んできましたが、今回の交渉で確認された以下3点は特に重要だと考えます。

1点目は購入土砂の採取場所の問題です。防衛局はどこまで詳細に記載できるのか、県もどこまで詳細な記載を求めるのかを現在検討中とのことでした。私たちは、1700万㎡の大部分の土砂を県外から調達する場合、県内調達の場合と同様な市町村名だけの記名では不十分であり、法に準じた詳細な場所の特

定が必要だと指摘しました。これは沖縄県の世界自然遺産登録に向けての「外来種」問題とも密接に関係しており、これから重要な争点になると考えます。

2点目は「実測平面図」の問題です。防衛局が縮尺8千分の1で示した平面図を、県は法律に基づいて2千5百分の1で表示するよう補正を求めています。今回の交渉で防衛局は、「航空写真」を基にして平面図を作成したことを認め、補正もこれに対応するとしています。

3点目はアセス補正評価書に関する「英訳」が米軍にすでに「送付されている」ことです。英訳は米国のジュゴン訴訟や、アセスの問題を国際社会に問うなかで非常に重要な文書になります。私たちは「英訳」の公開を防衛局に求めています。(沖縄 吉川秀樹)

## 4月19日政府交渉～沖縄ジュゴン保護・埋め立て反対を求めて

沖縄県が沖縄防衛局に「6月11日までに埋め立て申請の補正」を求めている中で、「埋め立て土砂の採取先」を明らかにするように求めました。「環境アセスメント逃れのために、土砂を業者購入した」(4/5共同通信)にしたからです。防衛省は「九州、瀬戸内から採取すると書いた」と居直りながらも「どのように書き直せばよいかを沖縄県と協議中だ」と弁解しました。申請書の補正をしなければ却下されるか、再補正の指示をされるかで、埋め立て事業がさらに遅れるからです。

環境省交渉では、種の保存法の一部改正議論を背景に沖縄ジュゴンの種指定を求めました。野生生物課は「2030年までに600種を追加する(現在90種)。沖縄ジュゴンも検討している」と決意を明らかにしました。

オスプレイの低空飛行訓練の中止を求めて、外務省、防衛省と交渉しました。「低空飛行訓練は日米安保条約の目的に基づいて行われている」「日米安全基準の合意はある」と居直りまし

たが、法的根拠がないことは認めました。しかし、低空飛行訓練を規制する法制度については「日米間の政治状況を変えなければ事務方では困難」と釈明しました。

各交渉の最後に、海勢頭豊代表から「安倍首相は4月28日主権回復の日記念式典を準備しているが、良いことをしてくれた。沖縄県民は怒った。本土の人も主権が回復していないことを認識すれば、健全さを取り戻すことになる」と出席した役人に自省を求めました。(事務局 蜷川義章)



情勢

～辺野古埋め立て申請～



「土砂の採取先の特定と、実地測量を求めます」

辺野古移設の遅れに安倍首相が焦る

沖縄防衛局の辺野古埋め立て申請（3月22日）に対して沖縄県が「6月11日までに33項目の補正を指示」（4月12日）して以降、SDCCは政府交渉や沖縄県、沖縄防衛局交渉などを取り組んできました（詳細記事は別掲）。その中で、沖縄防衛局が提出した申請図書の杜撰さが明らかになってきました。沖縄県と事前調整もせずに申請したことが、33項目の補正指示を受けるという異例なことになったのです。

沖縄県の形式（書類）審査もストップ

「補正2項目を除きめど～埋め立て申請 防衛局、県に説明」（4/25 沖縄タイムス）の記事についても、「説明に來ただけで、協議したわけではない。2項目は説明がなく、31項目も良していません」（県海岸防災課）と否定しています。私たちは「①埋め立て土砂の採取先の特定と、②航空写真ではなく実地測量すべき」の2点を重点に追及しています。土砂の採取先は、公有水面埋立法（以下、「法」）の実務便覧には「〇〇市〇〇町〇〇地区」と指示していますが、沖縄防衛局は「どこまで書けるか未定」。実測平面図については「8千分の1の航空写真を再度提出する」と現地の実測を考えていないとしています。

県の曖昧さ

県海岸防災課は交渉で、「6月11日までに申請図書が揃わなかった場合、合理的な理由がなければ却下する」ことを明言しました。しかし、「法」の実務便覧は「参考資料」と言い切ります。埋め立ての先進県との自負があるようです。しかし、「法」では環境保全の配慮を重視し、免許基準のすべてに適合していても拒否はありうると規定しています。沖縄県は曖昧な態度をやめて、「土砂の採取先の特定と実地測量」を沖縄防衛局に求めるべきです。仲井真知事への激励はがきで強く要求しましょう。また、埋め立て反対署名をさらに広げましょう。6月11日の補正の指示期限にむけて、沖縄県海岸防災課を監視し、却下を求めましょう。



5/10 沖縄県海岸防災課との交渉の様子

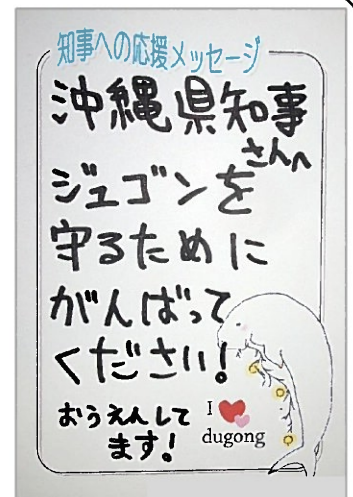
知事に応援はがきを送ろう！

辺野古の埋め立て申請の手続きがはじまっています。今のところ仲井真知事は、埋立に対して「生活環境、自然環境の保全を図ることは不可能」「県外移設を」との態度を取っていますが、さまざまな圧力も予想されます。知事に「埋め立て不承認」との結論を出してもらうには、世論の後押しが必要です。知事へ応援ハガキを送るアクションが広がっています。あなたも是非「ジュゴンの海を守って」「辺野古の海をこわさないで」「知事さん頑張ってください」というハガキを送ってください。

<はがきの送り先>

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2

知事公室秘書課 沖縄県知事 仲井真 弘多様 宛て



# アースデイ TOKYO 2013 に参加しました

4月20・21日の2日間、東京代々木公園一帯で開かれた「アースデイ TOKYO 2013」に参加しました。初日は午後から雨、2日目は朝からの雨も昼から雨が上がりましたが、4月下旬なのに、記録的な低温で、都心は48年ぶりの寒さだったそうです。とても寒かったアースデイでしたが、関西と首都圏のスタッフ10人で寒さに負けず元気にブースと署名集めに頑張りました。日曜日には三重県から目崎茂和先生（元南山大学教授、サンゴ礁学）が激励に来てくださいました。

雨が上がると、ジュゴンちゃんの出番。やはりジュゴンちゃんは人気者です。ジュゴン折り紙やマスコットも大人気で、ブースは署名をしてくださる人などが集まってきました。日曜日は昼から雨も上がり、人も増え署名がどんどん集まるようになりました。2日間で1032筆集まりました。

SDCCのブースは、アースデイで定着してきたようで、毎年来てくださる方が増えているようです。「辺野古に行って来た」「母が沖縄出身です」「去年もマスコット買いました」という方や、



埋め立て申請の事など熱心に聴いてくださる人など、関心のある方が多かったようです。新規会員になってくれた方もいました。辺野古のことはニュースなどで知っている人が多かったですが、ジュゴンが「沖縄にいるの?」という方もまだおりました。これをきっかけにジュゴンの海を守る声が、ますます広がり、私たちの思いを共有できる方々が増えていくことを願っています。  
(首都圏 矢敷克子)



5/12 アースデイ@はまでらこうえん(大阪府堺市)



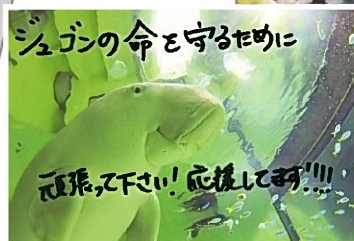
4/21 アースデイ東京



4/28 街頭行動(大阪・京橋)



アースデイで\*街頭で  
署名&はがきを集めています



5/4 地球愛まつり(京都市)

# SDCC第13回総会報告

SDCC 第 13 回総会を 3 月 31 日に大阪で開催しました。今年で結成 13 年目。SDCC は沖縄ジュゴン保護のため、3 度の IUCN 勧告と決議を実現し、未だに辺野古の海を埋め立てさせていません。

総会では、まず SDCC 代表の海勢頭豊さんが挨拶。「ジュゴンは古来より琉球で竜宮神・平和の神として信仰されてきた。この文化は東アジア全体に広がっていた。今、その歴史は忘れられている。閉ざされた歴史を思い起こし、武力信仰による権力に代わる、平和で自然と共生する文化を作っていこう」と強調しました。

次に SDCC 国際担当の吉川秀樹さんより、埋め立て申請の情勢を報告しました。「3/22 に沖縄防衛局は沖縄県に埋め立て申請をしたが、『環境アセス評価書』に対する沖縄県知事の『環境保全は不可能』という意見は変わっていない。カリフォルニア連邦地裁でのジュゴン訴訟判決は、ジュゴンの生息環境維持を米国防省に求めている。米国防省は日本の環境アセスによって環境は担保されると居直っているが、



第13回SDCC総会 @大阪・天満橋のドーンセンター

『基地建設ありき』の欠陥アセス。しかし、米国防省は海草藻場の保全とジュゴンの文化的価値の独自報告を求められている。原告側はジュゴンの文化的価値を語る証言者として海勢頭豊さんを推薦した。これをクリアしない限り米政府は基地建設に関与できない。」と報告しました。

さらにフィリピンでのジュゴン保護覚書第 2 回署名国会議参加報告、年間活動総括方針と人事案の確認、首都圏、関西の活動報告などを行い、質疑交流を深めました。（関西 松島洋介）

## 沖縄

# 「政府式典、がっていんならん！」4.28屈辱の日沖縄大会

政府の「主権回復・国際社会復帰式典」に抗議する『屈辱の日沖縄大会』は政府式典と同時刻の午前 11 時から宜野湾市海浜公園野外劇場で開催され、県議会自民・公明が不参加の中、「県民大会」の名称はあえて避けたものの、会場びっしりと埋め尽くした参加者は場外にもあふれ、1 万人を越す参加で沖縄の怒りを明確に示すものとなりました。「政府式典がっていんならん！」が集会の合言葉ですが、「がっていんならん」という言葉は、い

わゆる日本語の「合点がいかない」「納得できない」というだけのものではなく、言いあらわすことのできない怒りが込み上げてきた時にほとばしる島くとうばが「がっていんならん」＝「許せんぞ！」という表現になるということ、共に参加した伊江島反戦平和資料館「又チドウタカラの家」の謝花悦子さんは言うておられた。オスプレイ配備撤回のオール沖縄の声も黙殺し、辺野古新基地建設を強行しようとする政府への怒りに燃える沖縄に対して、沖縄の戦中戦後の歴史を無視し、今また新たな屈辱が加えられ、新たな「琉球処分」の時間が流れているという指摘もある中で、沖縄の怒りはさらに強いものになっています。

一方、特に今回の集会で眼を惹いたのは、中部地区青年団協議会の組織参加でした。代表者は、壇上で「私たちのように 4.28 を知らなかった若者世代に少しでもこの事実を知ってほしい。その思いでこの場にいる。」との発言でした。様々な取り組みに労組や平和団体、そして私も含めて 60 歳代以上の参加が目につく中、新たな展望を示すものであると感じました。

（国頭郡本部町瀬底在住 高垣喜三）



# 第2回ジュゴン保護覚書署名国会議 参加報告 第2弾

—顔の見えるネットワークづくりの場—



2月にフィリピンで開催されたSS2に参加してきました。前号ではアドバイザーの講演を中心に書きましたが、今号では、参加者の意見交換について報告します。各国代表やNGOなど26カ国、約60名が出席した会議2日目に、ジュゴン保護の「課題」と「啓発」という2つのテーマで意見交換が行われました。

特に少人数での「啓発」の議論はとても有意義でした。議論の取りかかりとして、ジュゴン保護の重要性を知らせる対象者の話になりました。地域住民はもちろんのこと、行政、観光客、協賛者、科学者、政策決定者などにも知ってもらいたいという意見が出ました。そして、話題が伝える手法に移ると議論は盛り上がり、テレビや新聞のようなマスメディアや地域メディア、チラシといった意見から、更にTシャツや詩を書くという斬新なアイデアも出てきました。

最初は机上の議論でしたが、次第に参加者が自分の事例を交えて発言するようになり、パラオで全小5、6年生に配布された教材やバブアニューギニアでの演劇ワークショップの話の話を聞きました。もっと時間があれば、対象者の反応や啓発内容、予算など更に具体的な情報交換が進みそうでした。

SS2は他地域の参加者と情報交換ができるチャンスがたくさんありました。たくさんの地域の事例を聞き、顔の見える関係で繋がれることもジュゴン保護覚書署名国会議参加の大きな意義の一つだと感じました。

(関西 正阿爾(しょうあみ))



少人数に分かれての意見交換



気さくなSS2.参加者 ジュゴンとソロモン国代表

※前号のちゃんぶるにゆーすの記事に「ジュゴン保護覚書はジュゴンと生息地の保全を国家レベル、国際レベルで進めるため、2011年に発効されました。」と記載しましたが、正しくは「2007年に発効」でした。お詫びして、訂正いたします。



おきなわ便り

## ☆梅雨を前に☆

大型連休GWが終わり、心にポッカリ穴が開いたようだ。

外をボーと眺めると、良い天気！

6月になると梅雨入りする沖縄、貴重な青れ日！外出したくなる。

帽子をかぶり外へ！

道端に小さな花壇を発見。

真っ赤な野薔薇や月桃の花が咲きみだれている。



その中で、花数は少ないが存在感のある朝顔の花に目が止まった。

太陽の光を浴びて、爽やかに生き生きと太陽に向けて咲いている。

力強いオーラだ！！

しばらく見とれていると、心に元気が湧いてきた。

さあ、梅雨の後お中縄の真夏がくるぞ〜梅雨よ、早く来い。

帰りの足取りは、軽快で夏にしたいことがとどんと頭に浮かんできた♪

(沖縄 仲村)



# 賑やかだった出版祝賀会～こらむ・コラム～

4月28日。その日、京・出雲路の旧岡部伊都子邸で開かれた「伊都子忌」に招かれ、歌を歌っていた。東京では安倍政権主催「日本主権回復の日」の式典が行われ、沖縄ではそのことに抗議して県民大会が開かれていた。

1952年4月28日に発効した日米講和条約によって、日本国民は主権を回復したものと誤解したままだった。そして沖縄県民は、昭和天皇によって捨てられたことをうらんで、「屈辱の日」とであると誤解してきた。しかし実際には、たとえ米軍統治下にあっても、4.28こそは沖縄人が「天皇を神とする日本」の呪縛から解放された日であったのである。

ところが戦後68年も経過したというのに、日本国民や沖縄県民の殆どが戦前の皇民化教育に洗脳されたままであった。このままでは安倍政権の画策する戦前回帰の思想に追従しかねない。

私が「卑弥呼コード・龍宮神黙示録」の出版を急いだのは、その危険な潮流を正さなければ大変なことになると思ったからだ。勿論、辺野古の海の龍宮神ジュゴンを

守るためであった。幸いにもそのジュゴンによって日本の歴史が見え、皇統の歴史を差別の源流に辿り着くことが出来た。そして予定通りに5月2日に本が出来上がり、8日には、那覇市安里国際通り沿いのホテルロイヤルオリオンで、出版祝賀会を開くことができた。

蜷川さん、吉川さん、そして宮古島から裕美さんも駆けつけ、受付を手伝ってくれた。祝賀会はライブ付きのパピリオン再現だった。久しぶりの面々が参加して賑わった。糸数慶子、山城博治の参議院予定候補者の顔、稲嶺恵一前沖縄県知事、嘉数昇明前副知事の出席。右や左の分け隔てのないパピリオンを皆が喜んでくれた。

ごあいさつを頂いた新川明さん、川満信一さん、仲程昌徳さん。乾杯の音頭を頂いた比嘉良雄さん、祝辞を頂いた安次富長昭さん。奄美から駆け付けた築島成子さん。その他。スタッフの皆さんに感謝感謝。しかし、私達の闘いは、ここからが本番を迎えるのである。

海勢頭豊（うみせど ゆたか：SDOC 共同代表）



# 立命館大学出張授業に行ってきました！

昨年に引き続き、池尾靖志講師の依頼を受けて立命館大学に出張授業をしてきました。「戦争の歴史と現在」というタイトルでジュゴンのこと交えてお話をしてきました。

学生数は300人を超え、みな真剣に私たちの話を聞いてくれました。終わる前に質疑応答の時間をいただきましたが、多くの人から手が上がり、関心の高さを伺うことができました。また終了してからも「ジュゴンを見たことがありますか？」とか「どうしてジュゴンと関わるようになったんですか？」など個人的な質問も受けました。そして多くの学生が並んでまで自主的に署名をしてくれました。うれしい反応でした！

ただ、その後のツイッターを見ると本音もチラリ。「歴戦の授業でジュゴンの話をするのか」「俺は何学部にも所属しているでしょう」などという意見も出ていました。10月にも同講師より出張授業の依頼を受けていますので、もっと

「ジュゴンを守ること」の意義を学生に伝えることができるようにしたいと思っています。（関西：上田千鶴）



※第8回じゅごんの里ツアー（沖縄）

\*辺野古現地を訪れ、地域の方々と交流、素晴らしい自然に触れるスタディツアーです。ぜひ一度ご参加ください。

日程：6月28日（金）～30日（日）  
ツアー費用：7万2千円（東京発着）  
7万円（関西発着）

※費用内訳：飛行機・宿泊2泊・船・ガイド料・レンタカー・保険・食事（1日目の夕食～3日目の昼食まで）

※申し込み締め切り 東京 6/1 大阪 6/3 現地参加 6/15

※現地参加や部分参加については、下記事務所までお問い合わせください。

毎月15日はジュゴンの日♪

◇ジュゴンでトレイン はじまり、はじまり～！  
着ぐるみジュゴンと一緒に大阪環状線に乗り込みぐるっと1周。  
ジュゴンのこと、基地のこと、楽しくアピールします。

7/15（月・休）14:00 大阪駅前陸橋上集合

どうぞお気軽にご参加を！



◇あなたの街でもやってみませんか？

7/15 ジュゴンの日に、あちこちで、アクションを！

電車、駅前やイベント会場など人の集まる場所で、「ジュゴンの海を守ろう！」のアピールをしてみませんか？

詳しくは、チラシをご覧ください。

大阪&全国

《スケジュール》



【首都圏】

◆NOオスプレイ6.6集会 6/6(木)19時より  
=追加配備はもつてのほか！=  
講演：桃原功さん（沖縄宜野湾市 市議会議員）  
場所：文京区民センター3A（東京メトロ春日駅下車ほか）

◆7/27(土)～28(日)  
第43回平和と民主主義をめざす全国交歓（東京 ZENKO）  
「カネより命 99%が手をむすび世界を変える！」  
会場：日比谷公会堂、星陵会館ほか  
2日間通し券 一般3000円など  
※SDCCも課題別決議案討議に参加します

【関西】

◆6/2(日)さかい福祉まつり 会場：東雲（しのめ）公園  
（JR阪和線堺市駅下車すぐ）  
◆「集まろう！6・2大飯を止めろ！関西包囲 1万人アクション&デモ」 13:00～関西電力本店前  
◆6/5(水)おきなわ茶会 @モモの家（吹田市泉町 5-1-18）  
沖縄の自然や基地をテーマに、ゆんたくします。  
19時～21時 参加費：500円（お茶菓子付き）



～本のご紹介～



卑弥呼コード  
龍宮神黙示録

（海勢頭豊 藤原書店）

A5版 376ページ

定価 2900円+税

2013年5月15日初版第1刷

「卑弥呼はヤマトの救世主だった！平安座島の龍宮神を守る家に生まれた著者が、島の言葉やしきたりの謎を解いていくドキュメンタリーに、小説「神の子姫子の物語」を織り交ぜ、大和が知らなかった卑弥呼の真実に迫る」（帯より抜粋）

SDCCは「2900円+郵送料」で取り扱っています。  
※海勢頭豊代表の著書です。どうぞ一読ください。

新署名、ただいま4500筆★

会員の皆さんから、たくさんの署名が届いています。ありがとうございます！元気になります☆イベント、街頭でも、ますます、がんばって集めていきます。目標一万筆です（11月に提出予定）。更なるご協力よろしくお願ひいたします。



求むジュゴンサポーター（ニュース購読会員）

SDCC 会員、ボランティアスタッフを募集しています。  
会員の皆様も、まわりの方へのお声かけお願ひいたします。

Editor's Note

5月末に、ふどうの木保育園（京都府八幡市）に、6月に大阪市内にある病院の院内学級に出かけて、沖縄ジュゴンのお話しをします。子どもたちに、ジュゴンの海のすばらしさを伝え、どうしたら、守ることが出来るかを考える機会になればいいな、と思っています。色んなところで出張授業しますので、お声かけください。（関西 山根）

ジュゴンちゃんぷるニュース VOL.68 2013年5月21日発行  
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)  
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-2-1  
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377  
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ [info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)  
（関西連絡先） 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野口ビル302  
TEL/FAX 06-6353-0514

会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:

加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター

口座番号 00140-9-660199

他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 ○○八支店

口座番号 普通 8159084